

総務民生常任委員会 議事録

日時：令和8年6月11日（木）

10:00～

場所：全員協議会室

出席者

委員名 ☐委員長 岩佐 秀一 ☐副委員長 渡邊 千恵美 ☐委員 竹内 和彦
☐委員 村野 里砂 ☐委員 齋藤 俊夫 ☐委員 大和 晴美

欠席者なし

会 議 次 第

1 開会宣告【委員長】

2 連絡

※ SideBooks及びMicrosoft Teamsの04_常任委員会 総務民生常任委員会フォルダに
次第・資料を格納します。確認をお願いいたします。

3 所管事務調査

(1) 付託陳情審査報告案について

別紙のとおり一部修正し、12日委員長報告

(2) 所管事務調査中間報告案について

別紙のとおり一部修正し、12日委員長報告

(3) 優良市町村視察研修について

① 視察地の候補

- ・茨城県境町
- ・福島県南相馬市等

② 視察事項

- ・子育て支援策
- ・ふるさと納税の取組
- ・メガソーラーの環境影響

③ 日程の候補

- ・8月3～5日

④ 執行部の同行の検討

- ・企画財政課、子育て定住推進課、（町民生活課）

⑤ 交通手段の確認

- ・人数によってレンタカー対応

※ 村野里砂委員は家庭事情で参加できない。

(4) 閉会中の継続調査項目案について

別紙のとおり

【委員長】昨日の一般質問で鉛フリーパネルの使用といわれたことを確認したところ、事業者からの説明会後の意向であり、設置が実施される2～3年後にはそういった状況が整うと思われるとのことだった。

【齋藤俊夫委員】閉会中の継続調査項目に出して調査している事項であるのに、事業が進んでいる。パネルの件も今後の話で未確定。事業者が言う売電金額も東京都の使用者とは15円で話しているという程度の数字である。現状、パネルの金額が鉛フリーであれば2～3倍になるが、それで事業計画が立てられるのか。その点を質問した際の返答に、財務状況非公開の事業者に取り寄せて判断するという回答であった。その後の話で近日中に事業者に町長が会うということから、しっかり確認するように伝えたとあるところである。説明会資料を町長に示したが、見ていないという回答だった。今回提示されたのは初めてのケースであるので、しっかりとしたスキームの説明を受け、国が想定する説明回答を経て、特定事業者に限らず実施していくことが望まれる。太平洋ブリーディングの例を持ち出したが、震災を契機に互いに被災したなかで、議会と一緒に検討しながら行ったものである。大企業の完全子会社という安定した保証もあった。

【委員長】今の内容は一般質問で示された内容であり、委員会に地権者の同意状況等が示されたものでもない。委員会に提供されていない内容もあった。今後とも調査を続けていきたいが、オブザーバー（産業観光課、施設管理課）と主管の町民生活課の連携が取れるように要望していく。

【齋藤俊夫委員】連絡調整会議で町民生活課も所属しているので一定の対応は可能だろう。

4 その他

亘理名取地区市町議会連絡協議会議員研修会

仮称「市町の空き家問題について」取り上げてほしい内容、質問等

- ① 「新築補助⇒中古取得補助」へ転換した自治体の成功・失敗事例
- ② 不動産事業者との「実効性ある協定」と民間活力の巻き込み方
- ③ 所有者の「意識の壁」を壊したアプローチ・啓発の手法
- ④ 相続時トラブル（田舎と都会の資産価値の認識違い）解消手段は

5 閉会宣告【委員長】

(11:55閉会)